

今月は、高田東中学校の学校生活や日々の取り組みの様子をお届けします

受験応援メッセージセレモニー

1月28日(火)、3年生の受験に向けた応援メッセージセレモニーを行いました。この行事は、これまで本校生徒会を牽引してきた3年生に感謝を伝えるとともに、これからの生徒会を担う1・2年生のリーダーとしての自覚を高めることをねらいとしています。この日に向けて1・2年生は、先輩方が歌い継いできた校歌と生徒会歌の合唱練習に取り組み、当日3年生の前で披露しました。また、1・2年生一人一人が3年生に向けた感謝の気持ちをカードに書き、絵馬の形にまとめて3年生に贈りました。後輩から先輩への感謝、そして先輩から後輩へのエールと、当日は温かい雰囲気会場を包み込みました。本校の校訓でもある『絆』を、生徒同士で確かめ合えた1日になりました。



高田東中学校生徒会絆プロジェクト、キャンドルリレー



3月6日(木)・7日(金)に、キャンドルリレーを開催しました。この企画は、「発信・貢献・つなぐ・残す」を目的とした本校生徒会の「絆プロジェクト」の一つで、震災に思いを寄せ、心をつないでいこうとする取り組みです。気仙大工左官伝承館の『3.11希望の灯り』から分灯していただき、毎年実施しています。本年は阪神淡路大震災から30年の節目の年ということで、1月17日(金)早朝の追悼式には、本校の代表生徒が参加しました。また、『3.11希望の灯り』が設置された経緯や地域で果たしている役割を知るために、設置に尽力されたHANDSの当時の代表である堀内正美さんや、箱根振興会会長の佐々木善仁さん、小友小学校地域コーディネーターの武蔵裕子さんを学校にお招きして、全校生徒で震災について学ぶ機会を設けました。

今年の『3.11希望の灯り』は、大船渡市大規模林野火災の早期鎮火を願い、一時的に消灯されました。その決断をした際の堀内さんの言葉、「灯りが消えている間も思いはひとつ」を受け、本校生徒会でも中学生の自分たちにできる支援を考えました。そして、今年のキャンドルリレーは、キャンドルに火を灯さずに実施することを決定しました。また、当時避難指示が出ていた大船渡市立東朋中学校のみなさんのために募金活動を行い、全校生徒のメッセージを添えたお菓子とともに届けました。

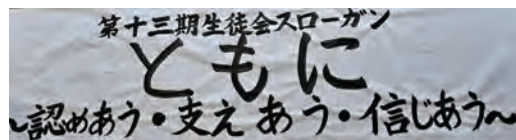
本校生徒会では、生徒同士の絆、地域の方々との絆を大切に、これからも様々な活動に取り組んでいきます。



新年度のスタート、対面式

4月8日(火)に新入生と在校生が一堂に会する対面式を実施し、学校生活や部活動紹介、1年生の決意発表、そして本校の校歌と生徒会歌の紹介が行われました。校歌には、1番は広田、2番は小友、3番は米崎と、それぞれの地域の特徴が表現されています。また生徒会歌は、高田東中学校開校3年目に作られた曲で、歌詞は当時中学校に在籍していた生徒が作りました。この2曲に誇りを持ち堂々と歌えるように、日々の生活をしっかり送り、いつでもどこでも歌える「歌声の響く学校」を目標に掲げて頑張っています。

本校第13期生徒会のスローガンは、「ともに～認めあう、支えあう、信じあう～」です。お互いの頑張りを認め合い、困った時には互いに支え合い、そして目指す目標に向かって互いに信じ合い、ともに前に進んでいく。そんな思いがこのスローガンには込められています。ここで出会えた「仲間」とともに。私たちを育み見守ってくれている「地域」とともに。恵み豊かな陸前高田の「風土」とともに。先輩方から受け継がれてきた高田東中学校の「伝統」とともに。本校生徒会は「ともに」をスローガンに掲げ、認め合い、支え合い、信じ合える東中を目指し、日々活動しています。



問い合わせ先 高田東中学校 ☎0192(55)2756



救急車を呼ぶべきか迷った時は#7119へ

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

4月1日(火)から、岩手県救急安心センター事業(#7119)の運用が開始されています。

#7119は、県が事業主体となり、県全体を一つのエリアとして24時間365日運用するもので、急なケガや病気で救急車を呼ぶべきか、すぐに病院に行った方が良いか迷った時に、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口です。

電話で「#7119」(ダイヤル回線およびIP電話の人は「019-656-1774」)へダイヤルすると、緊急性の有無や応急処置、救急車を要請した方が良いかといった内容を、看護師などへ相談することができますので、判断に迷った時はご利用ください。

ただし、緊急の場合はためらわず119番へ通報するようお願いいたします。

問い合わせ先 市消防本部・消防署 ☎0192(54)2119

詳細はこちら



その先の笑顔のため、いまできること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは?

自分の子どもや孫たちが暮らす未来に、住みやすい地球(世界)を残すため掲げられた全世界の人が取り組むべき目標

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか?

高田高校でSDGs講演会が行われました

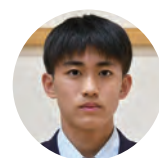
4月22日(火)、高田高校1年生126人を対象としたSDGs講演会が、同校で行われました。

市企画政策課職員が講師を務め、まず「1日3食の食事など、みんなが当たり前に行っていることが当たり前じゃない人たちが世界中にいる。だから17のゴールを定めて取り組む必要がある」と、SDGsの理念を説明。特に「SDGs未来都市」に選定されている本市は、環境面での取り組みが注目されやすい中で「ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり」を掲げ、心のバリアフリーなどのソフト面の取り組みに重きを置いた全国でも数少ない自治体であることを紹介しました。

多様性を考えるワークショップやSDGs推進プラットフォームでの啓発活動など、多彩な取り組みを行っている現状を伝え、生徒の皆さんは真剣な表情でSDGsに関する理解を深めました。



SDGsの推進に向けて.....



斎藤聖那さん

「SDGs」や「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりという言葉は、聞いたことはあっても具体的には分かっていませんでした。今回の講演を踏まえ、おいしい海の幸や山の幸が豊富な高田の自然を守っていくという環境面はもちろん、障がいの有無に関わらず一緒に働いたりすることが当たり前になるようなソフト面での取り組みにも関心を寄せていきたいです。



吉田彩夏さん

講演を通して「SDGs」に関する理念をはじめ、市や各種団体の取り組みについて知ることができました。今回学んだ内容を生かして、今後は視野を広く持って誰かのためになることに取り組んだり、少しずつでも自分のできることを探して、高齢者や障がいがある人でも差別なく、その人らしく暮らせるような優しいまちにしていきたいです。